



詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

令和8年(2026年)第3週 2026年1月12日(月)～2026年1月18日(日)



熊本市 感染症発生動向調査 速報

レジオネラ症に注意しましょう

レジオネラ症とは、自然界（河川、湖水、温泉や土壌など）に生息しているレジオネラ属菌による細菌感染症です。重症の肺炎を引き起こす「レジオネラ肺炎」と、一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」が知られています。感染してから症状が出るまでの潜伏期間は、2～10日です。

主な症状

レジオネラ肺炎→全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛、咳、38°C以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られます。意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状や、下痢がみられるのも特徴です。
ポンティアック熱→突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、一過性のもので自然に治癒します。

感染経路と感染対策

主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入などによって、細菌に感染して発症します。代表的なエアロゾル感染源としては、冷却塔水、加湿器や循環式浴槽などが報告されています。

◎加湿器を使用している場合

超音波振動などの加湿器を使用するときには、毎日水を入れ替えて容器を洗浄しましょう。

レジオネラ属菌は60°Cでは5分間で殺菌されるので、水を加熱して蒸気を発生させるタイプの加湿器は感染源となる可能性は低いとされています。



◎循環式浴槽（追い炊き機能付き風呂・24時間風呂など）を備え付けている場合

浴槽内に汚れや「ぬめり」が生じないよう定期的に洗浄等を行うなど、取扱説明書に従って維持管理しましょう。レジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすことが大切です。

定点種別	疾患名	状況	2週(1/5～1/11)		3週(1/12～1/18)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	○	306	12.75	342	14.25
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	△	10	0.42	16	0.67
	急性呼吸器感染症(ARI)	△	1174	48.92	1363	56.79
小児科	RSウイルス感染症	△	5	0.33	10	0.67
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	8	0.53	9	0.60
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	40	2.67	42	2.80
	感染性胃腸炎	—	47	3.13	89	5.93
	水痘(みずぼうそう)	—	9	0.60	5	0.33
	手足口病	—	1	0.07	2	0.13
	伝染性紅斑(りんご病)	—	26	1.73	23	1.53
	突発性発しん	△	9	0.60	5	0.33
	ヘルパンギーナ	—	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	1	0.07	1	0.07
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	8	1.60	8	1.60
基幹	細菌性髄膜炎	△	1	0.20	0	0.00
	無菌性髄膜炎	△	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	△	3	0.60	6	1.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	△	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(口タウイルス)	△	1	0.20	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし